

公立大学法人埼玉県立大学中期目標期間評価実施要領

平成27年1月27日 決定

埼玉県地方独立行政法人評価委員会

第1 趣旨

この要領は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第30条第1項に基づき、埼玉県地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）が行う公立大学法人埼玉県立大学（以下「法人」という。）の中期目標の期間における業務の実績に関する評価（以下「中期目標期間評価」という。）の実施に関し必要な事項を定める。

第2 中期目標期間評価の実施方法

中期目標期間評価は、法人が、当該中期目標期間における業務の実績及び自己評価を内容とする業務実績報告書（様式1）を評価委員会に提出し、評価委員会が、当該報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行い、業務実績評価書（様式2）を作成することにより実施する。

第3 法人による自己評価

1 小項目別評価

法人は、中期計画の記載事項（以下「小項目」という。）ごとに、当該中期目標期間における業務の実績を記載するとともに、中期目標の達成状況を次の4段階により自己評価し、その理由を明らかにする。

S：中期目標を上回って達成している。

A：中期目標を十分に達成している。

B：中期目標を十分には達成していない。

C：中期目標を達成していない。

2 大項目別評価

法人は、小項目別評価の結果及び特筆すべき事項（以下「特記事項」という。）の内容を踏まえ、中期目標の項目（以下「大項目」という。）ごとに、当該中期目標期間における中期目標の達成状況について、記述式により自己評価する。

なお、教育研究に関する項目の自己評価に当たっては、認証評価機関の評価結果を踏まえるものとする。

3 全体評価

法人は、大項目別評価の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務実績の全体について、記述式により総合的な自己評価を行う。

第4 評価委員会による評価

1 調査・分析

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書等を基に、法人から聴取等を行

うことにより、中期目標の達成状況について調査・分析を行う。

2 項目別評価（大項目別評価）

評価委員会は、調査・分析の結果を踏まえ、大項目ごとに、中期目標の達成状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、次の5段階により評価するとともに、その理由を明らかにする。

5：中期目標の達成状況が特筆すべきものである。

4：中期目標の達成状況が良好である。

3：中期目標の達成状況がおおむね良好である。

2：中期目標の達成状況がやや不十分である。

1：中期目標の達成状況が著しく不十分であり、重大な改善事項がある。

○ 評価の目安

「5」と評価する場合

- ・原則として小項目別評価がすべてS又はAであり、かつ、中期目標の達成状況や特記事項の内容に特筆すべき取組等があると、評価委員会が特に認める場合

「4」と評価する場合

- ・原則として小項目別評価がすべてS又はAであり、かつ、評価委員会が「4」相当と認める場合
- ・小項目別評価がすべてS又はAではないが、主たる中期目標の達成状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「4」相当と認める場合

「3」と評価する場合

- ・原則として小項目別評価におけるS又はAの割合が9割以上であり、かつ、評価委員会が「3」相当と認める場合
- ・小項目別評価におけるS又はAの割合が9割には満たないが、主たる中期目標の達成状況や特記事項の内容を総合的に勘案して評価委員会が「3」相当と認める場合

「2」と評価する場合

- ・原則として小項目別評価におけるS又はAの割合が9割に満たず、かつ、評価委員会が「2」相当と認める場合

- ・小項目別評価におけるS又はAの割合が9割以上ではあるが、主たる中期目標の達成状況等を総合的に勘案して評価委員会が「2」相当と認める場合
- 「1」と評価する場合
- ・中期目標の達成のためには重大な改善事項があると、評価委員会が特に認める場合

3 全体評価

評価委員会は、項目別評価の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務実績の全体について、記述式により総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

第5 事業年度評価のスケジュール

事業年度評価は、原則として、次のスケジュールにより実施する。

- 6月 業務実績報告書を受理
- 7月 業務実績報告書等に基づく調査・分析
- 8月 事業年度評価の決定（業務実績評価書の作成）
評価結果の法人への通知並びに知事への報告及び公表

様式 1

公立大学法人埼玉県立大学
第 期中期目標期間 業務実績報告書
(平成 年度～平成 年度)

平成 年 月
公立大学法人埼玉県立大学

目 次

□ 法人の概要

- 1 基本的情報
- 2 組織・人員情報
- 3 審議機関情報
- 4 学生に関する情報

□ 全体評価（全体的実施状況）

- 1 業務の実施状況について
- 2 財務その他の状況について
- 3 その他

□ 項目別実施状況

- I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- II 業務運営の改善及び効率化に関する目標
- III 財務内容の改善に関する目標
- IV 自己点検・評価及び当該情報の提供に関する目標
- V その他業務運営に関する重要目標

□ 法人の概要

1 基本的情報

法人名	
所在地	
設立団体	
設立認可年月日	
設立登記年月日	
沿革	
法人の基本的な目標	
法人の業務	

2 組織・人員情報

(1) 組織

(2) 役員

(3) 教員数

(4) 職員数

3 審議機関情報

4 学生に関する情報

□ 全体評価（全体的実施状況）

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育

(1) 教育の成果

ア 学士課程における教育

中期目標	教養教育においては、幅広い知識と豊かな人間性を身に付け、自律的に判断し、複合的な視野から課題に取り組み解決する能力を備えた人材を育成する。 専門教育においては、それぞれの専門分野における知識と技術を修得し、リーダーとして活躍できる総合力を備えた人材を育成する。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

イ 大学院課程における教育

中期目標	保健・医療・福祉の各分野における専門性を深める教育研究を推進するとともに、保健・医療・福祉の連携と統合という大学の教育理念を包括的に理解し、更に深める。 博士前期課程（修士課程）においては、保健・医療・福祉の学際的な知識と技術を総合的に駆使できる能力を身に付けた高度な専門職業人を育成する。 博士後期課程においては、保健・医療・福祉の理論と技術開発から人材育成まで統合的な視野で超高齢社会に貢献できる高度な専門職業人、研究者及び教育者を育成する。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 教育内容等

ア 入学者受入方針

中期目標	大学の基本理念と教育目標を踏まえ、アドミッション・ポリシー（大学が求める学生像）を明確にし、目的意識や学習意欲の高い人材、多様な経験を持つ社会人をはじめとする優れた資質を有する人材を積極的に受け入れる。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

イ 教育内容・方法の充実・改善

中期目標	学生の要請に的確に対応し、学習効果の高い、魅力ある教育を確保するため、自己点検・評価、学生による授業評価、ファカルティ・ディベロップメント（教育内容・方法を改善するための組織的な研究・研修などの取組）の実施などにより、教育の質の向上を図る。 また、大学が先進的に取り組んでいる専門職連携教育（IPE）の充実・強化・発展に努める。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

ウ 学生の成績評価

中期目標	学生の成績評価基準を明確に示すことにより、学生の学習目標設定を容易にし、学習意欲の向上を図る。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(3) 教育の実施体制等

ア 教職員の確保と教育能力の向上

中期目標	大学の教育目標の達成に向け、質の高い教育を実施するため、優れた教職員の確保に努める。 また、教員の教育能力の向上のため、ファカルティ・ディベロップメントを実施する体制を構築する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

イ 教育環境の整備

中期目標	学生の学習意欲や教育効果を高めるため、図書館をはじめとする自主学習環境の整備を図る。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

2 学生への支援

(1) 学習・生活支援

中期目標	学生の学習意欲を高め、安心・安全な学生生活が過ごせるよう、学習・健康・生活の相談を行うなど、学習支援や生活支援の体制の充実を図る。 また、経済的に修学が困難な学生に対する支援の充実を図る。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 就職支援等

中期目標	学生が、早い段階から将来への目的意識を明確に持ち、自己の将来設計を考えられるよう、就職や自立に向けたキャリア教育に積極的に取り組み、進路決定率（就職・進学）100%を目指す。 また、県内就職先に関する情報収集や新規開拓を図るとともに、学生に対する就職情報の提供や相談体制の充実などを図り、平成27年度までに県内就職率60%を目指す。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(3) 障害のある学生に対する支援

中期目標	障害のある人々に入学の機会を広げるとともに、障害のある学生が必要な支援を受けながら確実に授業を受けることができる教育環境づくりを進める。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(4) 社会人、留学生等に対する教育支援

中期目標	地域や国際社会に開かれた大学として、社会人や留学生の受入れを進めるとともに、教育支援の充実を図る。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

3 研究

(1) 研究の方向性及び成果

ア 研究の方向性

中期目標	保健・医療・福祉の分野における基礎的研究から応用的研究まで幅広い研究を行うとともに、地域や時代の要請にこたえる実用的かつ実践的な研究に取り組む。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

イ 研究成果の活用

中期目標 研究成果については、大学の教育研究活動に反映させるとともに、国内外に積極的に発信し、地域的な課題や国際的な課題の解決に貢献するなど、研究成果の有効活用を図る。

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 研究の実施体制

ア 研究体制の整備

中期目標 研究力の向上を図るため、弾力的な研究実施体制と全学的な研究支援体制を構築する。

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

イ 研究資金の確保

中期目標 外部研究資金の積極的な確保を図り、科学研究費補助金の採択件数を平成27年度までに平成21年度比で30%増加させる。

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

4 地域貢献、産学官連携及び国際交流

(1) 地域貢献

中期目標 大学が有する人的資源や教育研究成果を地域社会に還元し、県民生活の向上、生涯学習の推進、地域課題の解決に寄与する。

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 産学官連携の推進

中期目標 産業界、他大学、行政機関等との研究協力を積極的に推進し、魅力ある地域づくりや産業の活性化に寄与する。

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(3) 国際交流

中期目標	教育研究の活性化を図るとともに、国際感覚豊かな人材を育成するため、海外の大学との学術交流を推進する。
-------------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

	構成する小項目別評価の結果	自己評価	備考
	S：年度計画を上回って実施している。		
	A：年度計画を十分に実施している。		
	B：年度計画を十分には実施していない。		
	C：年度計画を実施していない。		

特記事項	備考

大項目評価（大項目の進捗状況）	備考

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 運営体制の改善

(1) 機動的な運営体制の構築

中期目標	理事長のリーダーシップの下に、教育研究の特性に配慮しつつ、迅速かつ適切な意思決定を行うことができる運営体制を構築する。 また、教員組織と事務組織の連携を強化し、一体的かつ効率的な運営体制を実現する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 戦略的な大学運営

中期目標	中長期的視点に立った経営戦略を確立し、限られた資金と人的・物的資源の効率的かつ効果的な活用が図られる大学運営を実現する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(3) 地域に開かれた大学づくり

中期目標	大学情報の積極的な提供や学外有識者の大学運営への参画を進め、地域に開かれた大学づくりを推進する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

2 教育研究組織の見直し

中期目標	保健・医療・福祉の分野における教育研究の高度化・学際化・国際化と時代や社会の要請の変化に的確に対応するため、中長期的な視点に立って学部、研究科等の教育研究組織の検討や見直しを行う。 なお、大学院については平成27年度までに博士課程を設置する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

3 人事の適正化

(1) 弾力的な人事制度の構築

中期目標	教育研究活動や学外での地域貢献活動の活性化と法人運営の効率化を進めるため、多様な任用形態、柔軟な勤務形態などの弾力的な人事制度を構築する。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 教員評価制度の導入

中期目標	教員の意欲向上、組織の活性化、教育研究や法人・大学運営の質的向上を図るため、教員評価制度を導入し、評価に基づく適切な処遇を行う。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(3) 人材の活用と確保

中期目標	教育研究の充実と活性化を目指し、多様な方法により幅広い分野から優秀な教職員を確保する。 また、適切な人事管理の下、教職員の適正配置と活用に努める。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

4 事務等の効率化、合理化

中期目標	教育研究に対するサポート機能の向上と法人・大学運営の効率化を図るため、事務処理や事務組織の見直しを行い、その効率化と合理化を図る。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

	構成する小項目別評価の結果	自己評価	備考
	S：年度計画を上回って実施している。		
	A：年度計画を十分に実施している。		
	B：年度計画を十分には実施していない。		
	C：年度計画を実施していない。		

特記事項	備考

大項目評価（大項目の進捗状況）	備考

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 外部資金その他の自己収入の確保

(1) 外部資金の獲得

中期目標	科学研究費補助金をはじめとする競争的研究資金、受託研究費等の外部研究資金を積極的に獲得する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 学生納付金

中期目標	授業料等の学生納付金、受講料等については、適正な金額を定め、確実に収入する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(3) その他の自己収入確保

中期目標	大学の特性を生かした取組や大学資源の有効活用により、自己収入の増加に積極的に努める。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

2 経費の抑制

中期目標	業務運営方法について全般的に見直すとともに、外部委託等を有効に活用し、経費の節減を図る。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

3 資産の運用管理

中期目標	大学の健全な運営を確保するため、資産の適切な運用管理を行うとともに、その効率的かつ効果的な活用を図る。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

4 自主財源比率の向上

中期目標	自己収入の確保、経費の抑制、資産の運用管理に総合的に取り組み、自主財源比率（施設の大規模改修、高額備品の更新、退職給与金に係る経費は除く。）を平成27年度までに平成20年度決算比で5ポイント向上させる。
------	---

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

	構成する小項目別評価の結果	自己評価	備考
	S：年度計画を上回って実施している。		
	A：年度計画を十分に実施している。		
	B：年度計画を十分には実施していない。		
	C：年度計画を実施していない。		

特記事項	備考

大項目評価（大項目の進捗状況）	備考

IV 自己点検・評価及び当該情報の提供に関する目標

第5 自己点検・評価及び当該情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 評価の充実

(1) 評価の実施

中期目標	教育研究活動や組織・業務運営の状況について、自己点検・評価が効率的かつ効果的に実施できるよう体制を整備し、定期的に自己点検・評価を実施する。 また、評価の客観性を確保するため、第三者機関による外部評価を受ける。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

(2) 評価結果の活用

中期目標	自己点検・評価や第三者機関の評価の結果を公表するとともに、大学の教育研究活動や組織・業務運営の改善のために活用する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

2 情報公開の推進

中期目標	法人としての説明責任を果たし、法人・大学の運営の透明性を確保するため、当該運営状況の情報を積極的に公開する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

	構成する小項目別評価の結果	自己評価	備考
	S：年度計画を上回って実施している。		
	A：年度計画を十分に実施している。		
	B：年度計画を十分には実施していない。		
	C：年度計画を実施していない。		

特記事項	備考

大項目評価（大項目の進捗状況）	備考

V その他業務運営に関する重要目標

第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

1 施設設備の整備等

中期目標	計画的な施設設備の整備を進め、良好な教育研究環境の維持に努める。
------	----------------------------------

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

2 安全管理

中期目標	学生や教職員の安全確保と健康管理の向上に努め、安心・安全なキャンパスづくりを進める。 また、学内の情報セキュリティ対策の充実を図るとともに、個人情報の保護や管理を適正に行う。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

3 社会的責任

中期目標	人権意識の向上、環境に配慮した活動の実践、不正や不当な行為の防止など、大学の社会的責任に十分留意した取組を積極的に実施する。
------	--

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

第7 予算、収支計画及び資金計画

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

第8 短期借入金の限度額

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

第9 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

第10 剰余金の使途

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

第 1 1 公立大学法人埼玉県立大学の業務運営並びに財務及び会計に関する規則で定める事項（第 4 条関係）

中期計画	業務の実績	自己評価	評価の理由

	構成する小項目別評価の結果	自己評価	備考
	S：年度計画を上回って実施している。		
	A：年度計画を十分に実施している。		
	B：年度計画を十分には実施していない。		
	C：年度計画を実施していない。		

特記事項	備考

大項目評価（大項目の進捗状況）	備考

公立大学法人埼玉県立大学
第 期中期目標期間業務実績評価書
(平成 年度～平成 年度)

平成 年 月

埼玉県地方独立行政法人評価委員会

目 次

第一 評価の基本的な考え方

第二 評価の結果

1 全体評価

(1) 総評

(2) 業務の実施状況

(3) 業務運営等に係る改善事項

2 項目別評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

III 財務内容の改善に関する目標

IV 自己点検・評価及び当該情報の提供に関する目標

V その他業務運営に関する重要目標

第一 評価の基本的な考え方

埼玉県地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第30条第1項及び第2項の規定に基づき、公立大学法人埼玉県立大学（以下「埼玉県立大学」という。）の第 期中期目標期間における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、埼玉県立大学の中期計画に定めた事項ごとにその実績等を記載した業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

中期目標に掲げる次の事項ごとに、当該中期目標の達成状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。

- I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- II 業務運営の改善及び効率化に関する目標
- III 財務内容の改善に関する目標
- IV 自己点検・評価及び当該情報の提供に関する目標
- V その他業務運営に関する重要目標

[5段階]

- 5：中期目標の達成状況が特筆すべきものである。
- 4：中期目標の達成状況が良好である。
- 3：中期目標の達成状況がおおむね良好である。
- 2：中期目標の達成状況がやや不十分である。
- 1：中期目標の達成状況が著しく不十分であり、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、第 期中期目標期間における業務の実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

第二 評価の結果

1 全体評価

(1) 総評

(2) 中期目標の達成状況

(3) 改善を要する事項

2 項目別評価

I	大学の教育研究等の質の向上に関する目標
評価	
(講評)	

II	業務運営の改善及び効率化に関する目標
評価	
(講評)	

III	財務内容の改善に関する目標
評価	
(講評)	

IV	自己点検・評価及び当該情報の提供に関する目標
評価	
(講評)	

V	その他業務運営に関する重要目標
評価	
(講評)	